

PHCグループ会社概要

PHCホールディングス株式会社



PHC
GROUP

INDEX

目次

1	会社概要	P.03
----------	------	------

2	PHCグループ沿革・事業の歴史	P.06
----------	-----------------	------

3	経営理念／ビジョン／価値観	P.08
----------	---------------	------

4	各事業紹介	P.12
----------	-------	------

糖尿病マネジメント



P.13



P.16

ヘルスケアソリューション



P.18



P.20



P.23

診断・ライフサイエンス



P.25



P.27

5	PHCグループのサステナビリティ	P.32
----------	------------------	------

1 会社概要

会社名	PHCホールディングス株式会社
本社所在地	〒100-8403 東京都千代田区有楽町一丁目13番2号 第一生命日比谷ファースト15階
創業	1969年（松下寿電子工業株式会社として創業開始）
代表者	代表取締役社長CEO 出口 恭子
資本金	48,423百万円※
上場市場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6523）
主要事業	<ul style="list-style-type: none">• 糖尿病マネジメント• ヘルスケアソリューション• 診断・ライフサイエンス

※ 2024年3月末現在

グローバルに展開する日本発のヘルスケア企業。リーディングポジションにある高精度・高品質の製品とサービスの提供を通じて、医療関係者の皆さまから高い信頼を獲得。事業を通じて世界の様々な医療課題の解決に貢献

PHCグループの強み



リーディングポジションの
製品・サービス



高精度・高品質な
モノづくり

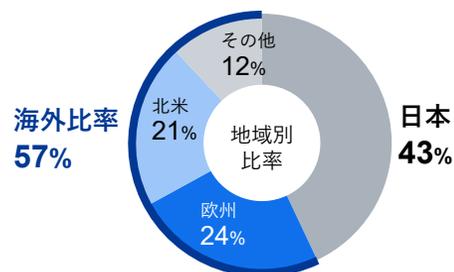


幅広い医療関係者への
グローバルなリーチ

連結売上収益※1

3,539 億円

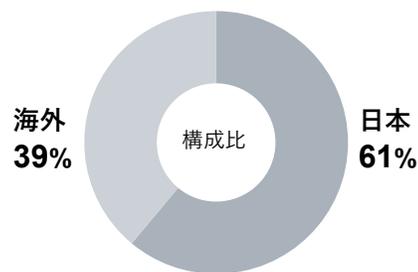
グローバルに事業を展開



連結従業員数※2

9,245 名

多様な人財が活躍



グループ会社数※2

88 社

グローバルネットワークを構築



事業展開※2

125 以上の
国・地域

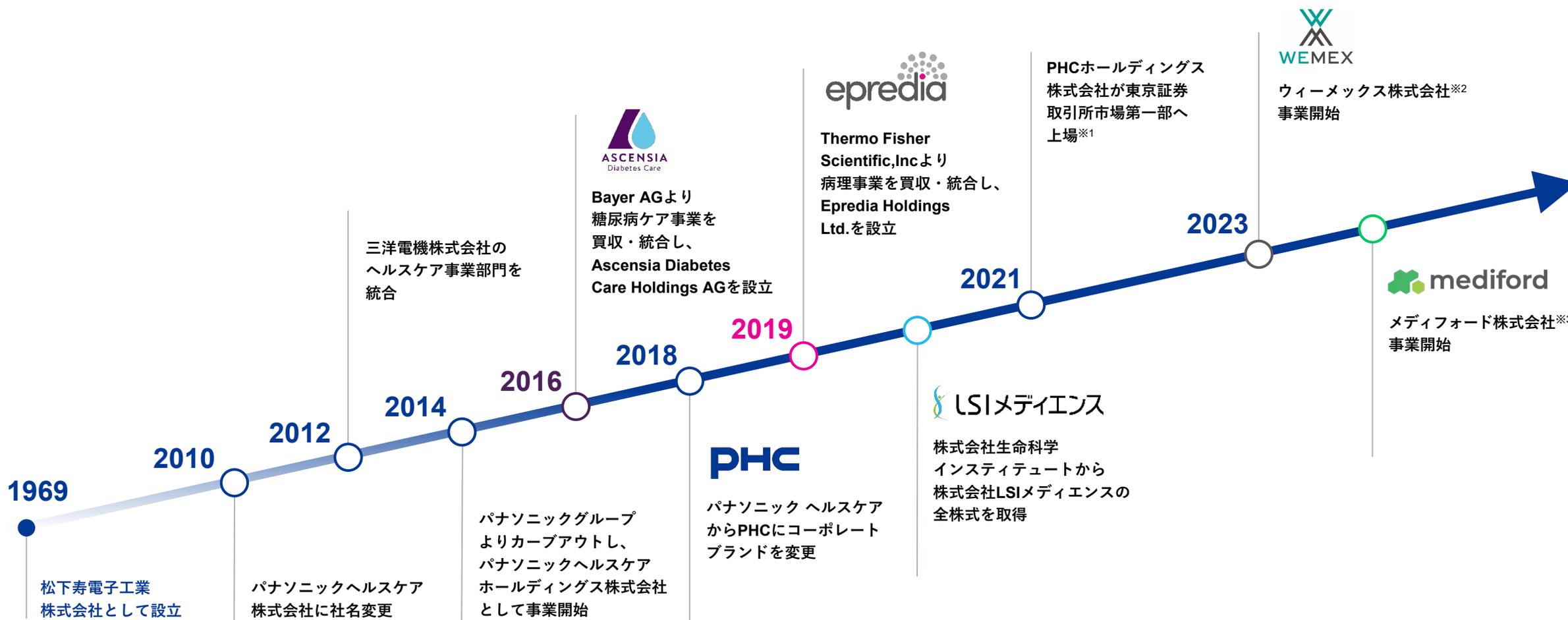
世界での豊富な販売実績



※1 2023年度。為替レート：1US\$=144円、1ユーロ€=157円

※2 2024年3月末現在

2 PHCグループ沿革・事業の歴史



※1 2021年10月14日に新規上場（証券コード 6523 東証プライム） ※2 PHC株式会社メディコム事業部とPHCメディコム株式会社を統合
 ※3 株式会社LSIメディエンスの治験事業を同社の子会社に承継し、PHCホールディングス株式会社の子会社化

3

経営理念／ビジョン／価値観

MISSION

わたしたちは、たゆみない努力で
健康を願う全ての人々に新たな価値を創造し
豊かな社会づくりに貢献します

VISION

精緻な技術でヘルスケアの未来を切り拓くリーダーとなる

VALUES

好奇心
実行する勇気
個の尊重と共創
高い倫理観

糖尿病マネジメント



- 血糖値測定システム
- 持続血糖測定システム
- デジタル糖尿病管理ソリューション

ヘルスケアソリューション



- 臨床検査



- ヘルスケア
ITソリューション



- 医薬品・医療機器・
再生医療分野等の
研究開発支援サービス

診断・ライフサイエンス



- 臨床検査・研究用
病理検査ソリューション



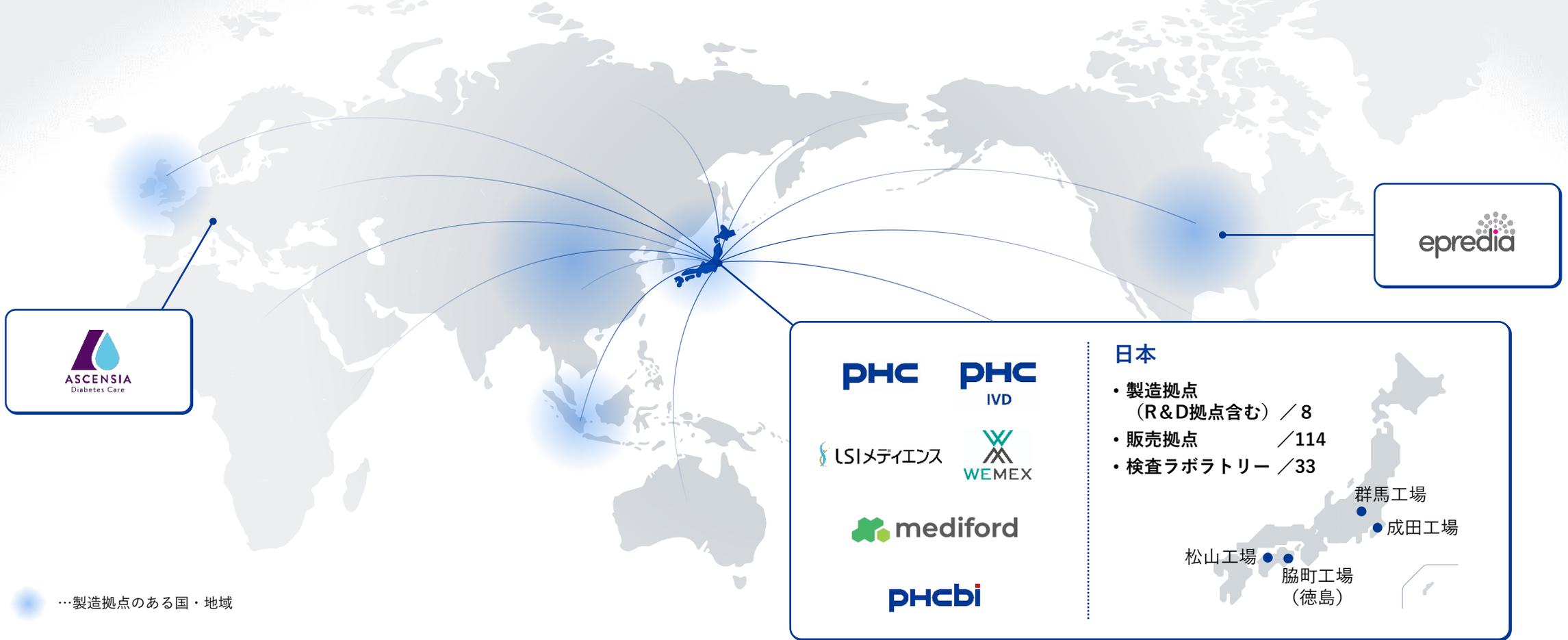
- 研究・医療支援機器



- 診断薬・診断機器
- 開発製造受託サービス
- ドラッグデリバリー
- デジタルヘルス

©PHC Holdings Corporation 2024

グループ会社 88社で事業を展開し、125以上の国と地域で販売



※ 数値は、2024年3月末現在

4 各事業紹介

糖尿病管理における先進的な技術を通じて、高精度な測定機器や患者さま一人ひとりにあわせたソリューションをグローバルに展開。80年以上にわたり、糖尿病治療に取り組む患者さまのより快適な生活をサポート

事業の強み

- 1 100以上の国と地域で患者さまが利用する信頼ブランド
- 2 グローバルな販売ネットワークにより糖尿病管理の様々なニーズに対応
- 3 高度なバイオセンシング技術
- 4 測定機器とデジタル技術の連携により効果的な自己管理をサポート

主要顧客

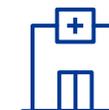
糖尿病患者さま



調剤薬局



病院／診療所



患者さまの使いやすさを追求した高精度な血糖値測定システムは、世界的に広く採用。デジタル技術との融合により、測定データを活用しながら効果的に糖尿病を管理するソリューションを展開

血糖値測定システム (BGM)

患者さま自身で簡便・正確に血糖値を測定。システムとスマートフォン等の連携可能



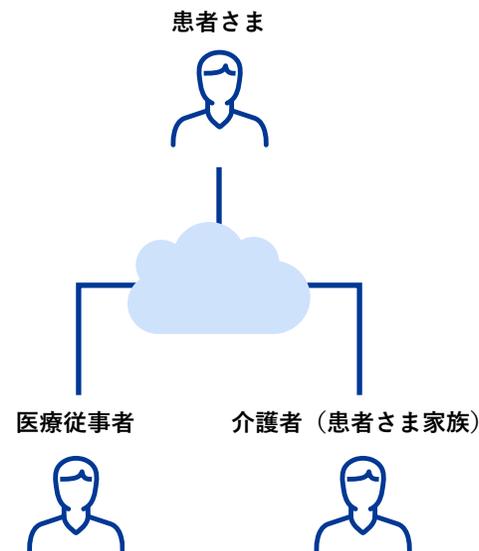
持続血糖測定システム (CGM)

世界初*の長期間装着可能な皮下埋め込み型光学式センサーで持続的に血糖値を測定。血糖値の上昇・下降を通知



デジタル糖尿病管理ソリューション

患者さまのより効果的な自己管理とデータ共有をサポートする糖尿病の一元管理ソリューション



業界初製品

尿中のブドウ糖を測定する初のキット (1941)



持ち運び可能な血糖測定器 (1969)



*本製品の開発・商品化を行うSenseonics Holdings, Inc.の情報に基づく

日本・インドネシアの2カ国に製造拠点を設置。世界30以上の国と地域で事業を展開



…糖尿病マネジメント事業に関連する国／地域 (販売代理店の拠点は含まれていません)



- Ascensia Diabetes Care Holdings AG (スイス)
- Ascensia Diabetes Care US Inc. (アメリカ)



● …グループ会社本社 ● …製造拠点 ○ …R&D機能

(2023年3月時点)

1975年、前身の株式会社メディカルサイエンス設立以降、臨床検査を通じて、病気の予防・発見・治療に貢献

事業の強み

- 1 4,000種類を超える多様な検査ポートフォリオ
- 2 国際認証※取得済みの高品質検査
- 3 全国に展開した営業拠点網による大規模なプラットフォーム

※ 米国臨床病理医協会（CAP）の認定を取得

主要顧客

病院／診療所



食品メーカー



検査分析技術を基盤とするがん診断や遺伝子検査などの臨床検査を展開。さらに、グローバルなアンチ・ドーピング活動を推進し、スポーツの健全な発展に貢献

臨床検査サービス

高度な臨床検査ニーズに対応するラボオートメーション・システムを通じて、生化学、血液学、免疫学、微生物学、遺伝子学を含む多種多様な検査項目を展開



ドーピング検査サービス

国内唯一のWADA*認定ラボラトリーとして、グローバルなアンチ・ドーピング活動を推進。最新の機器と先進的な分析方法を用いてドーピング検査における検体分析を実施



※ 世界アンチ・ドーピング機構

1972年、日本初の医事コンピューターを発売。
医療DXを通じて医療業界を変革し続けるヘルスケアソリューションカンパニー

事業の強み

- 1 半世紀にわたって蓄積された豊富な知見・経験
- 2 診療所・薬局市場における強固な顧客基盤
- 3 全国拠点網を活かした的確で迅速なサポートサービス
- 4 医療機関と患者さまのオンライン連携を実現するICTを活用した包括的なソリューション

主要顧客

診療所／病院



調剤薬局



歯科



健康保険組合



国内の医療DXを推進するソリューションを展開。電子カルテシステムおよび電子薬歴システムはオンライン資格確認や電子処方箋と連携や、他社サービスとのAPI連携を実現

ヘルスケア業務支援システム

医事コンピューター (レセプトコンピューター)

診療所・病院シェア

製品例 **Medicom-HRf core**

保険証情報を自動取り込み。
会計作業を円滑化

電子カルテシステム

診療所シェア

製品例 **Medicom-HRf Hybrid Cloud**

カルテ入力荷軽減を中心に
医療現場の業務を効率化

電子薬歴システム

保険薬局シェア

製品例 **PharnesV-MX**

薬歴の一覧画面や多彩な機能で
薬剤師の業務をサポート

歯科医院向け電子カルテ※2

fine-SEED

手書きカルテの自由さと使い勝手を
そのまま再現。業務ストレスを軽減

レセプト審査支援ソリューション※2

べてらん君 collaboration Plus

デジタルの高速処理と、アナログ的
インターフェースの見やすさを兼備

予防医療ソリューション

健康管理ソリューション

WellsPort Step

従業員（健康保険組合員）への保健指導を
きめ細かく、効率的にサポート。
毎年約10万人の生活習慣を改善

健康事務代行サービス

健康診断サポート

企業・健康保険組合の負担を軽減する
総合健診支援サービス

業界初製品 (日本)

医事コンピューター
(1972)



※1 国内市場シェア。自社調べ。 ※2 ウィーメックスヘルスケアシステムズ株式会社が提供。

2023年、株式会社LSIメディエンスの治験事業と株式会社LSIM安全科学研究所の統合を経て新たに誕生

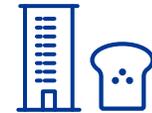
事業の強み

- 1 個別化医療^{※1}に対応する独自の創薬支援技術 (PDX・PDC、IMS)^{※2}
- 2 再生医療等製品の開発支援サービス
- 3 新規モダリティ等に対応した各種分析技術 (PBMC分離、核酸医薬品、バイオマーカー)^{※3}
- 4 非臨床試験戦略立案から実施までのコンサルティング

主要顧客

製薬企業／創薬ベンチャー

一般企業
(化学・農薬・食品・化粧品等)



大学

公共機関



※1 一人ひとりの体質や病気のタイプに合わせた治療を行うこと

※2 PDX・PDC：ヒトのがん組織を免疫不全マウスに移植した組織片 IMS：試料のイメージング質量分析

※3 PBMC：ヒト末梢血単核細胞

これまでの豊富な受託実績と経験で培われた試験の信頼性と高い分析力を掛け合わせ、創薬の探索フェーズを含む基礎研究から臨床試験まで、幅広い領域で研究開発支援サービスを展開

非臨床試験受託サービス

GLP※基準に適合した施設および最先端の設備機器を活かし、薬事承認申請用の各種試験から研究開発初期の探索的検討試験、コンサルティングまで幅広く展開



バイオアナリシスサービス

生体試料中の薬物やその代謝物、バイオマーカー等の分析法開発から分析法バリデーション、実検体の測定を実施



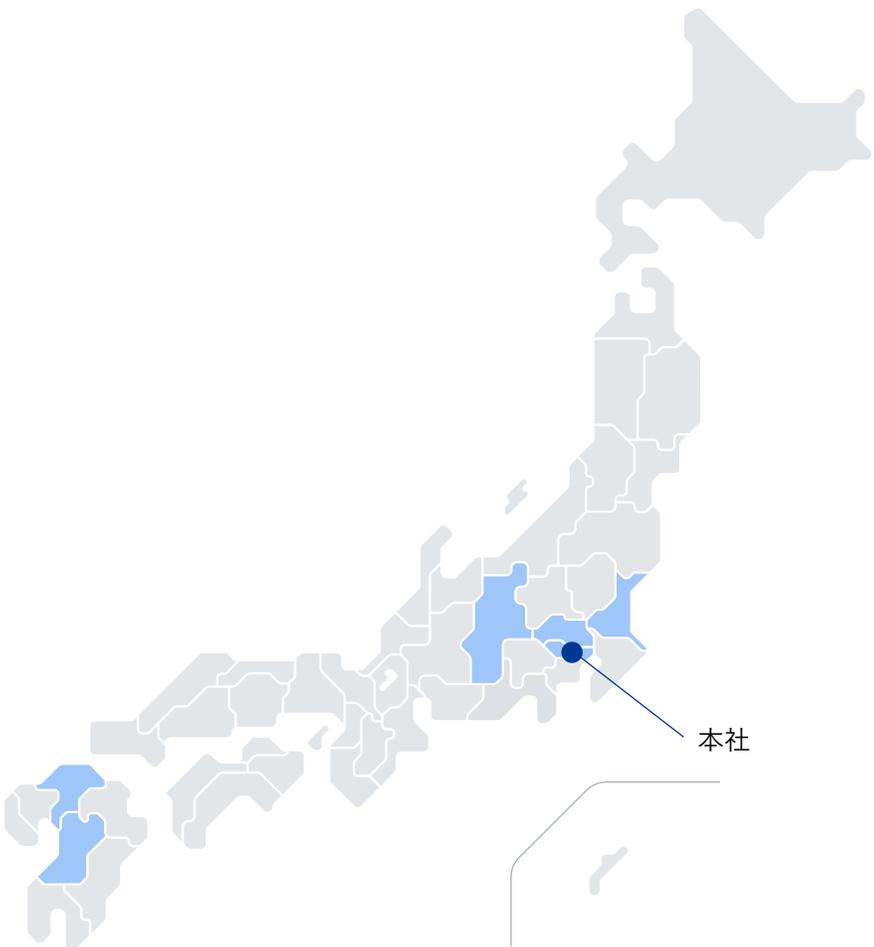
セントラルラボサービス

全国の医療機関で実施される臨床研究（治験・臨床試験）の検体回収から一括検査まで、一連のプロセスをサポート。医薬品開発のグローバル化にも対応



※ GLP：Good Laboratory Practice。医薬品の非臨床試験の安全性・信頼性を確保するための基準

LSIメディエンス、ウィーメックスともに全国拠点網を構築



■ …R&D機能／製造拠点 (2023年11月時点)

	LSIメディエンス	WEMEX	mediford
	本社：東京都港区	本社：東京都渋谷区	本社：東京都板橋区
R&D機能／製造拠点	<ul style="list-style-type: none"> 東京／板橋 	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉 長野 福岡 	<ul style="list-style-type: none"> 茨城 熊本
事業／営業拠点	約 60	46	7
ラボラトリー	35 (登録衛生検査所)	-	3

病理分野の世界的リーダーとして、より正確ながん診断を行うための包括的ソリューションを提供。
毎秒48のエプレディア製品が、世界中の研究所や医療施設で使用されています

事業の強み

- 1 診断プロセスの効率化・精度向上を実現する
高品質で包括的な製品ラインアップ
- 2 80年にわたり培ってきた
顧客との信頼関係・市場シェア
- 3 欧米、アジアを主とした強固な販売網

主要顧客

病院／診療所



研究機関／大学



製薬企業



病理検査機器や消耗品、顕微鏡スライドガラスなど、包括的な病理検査ソリューションの提供を通じて、検体採取から診断までのワークフローを効率化し、より安全に、迅速で正確ながんの診断を実現

スライドガラス

光学的に最高レベルの透明度で
よりの確な診断を実現



細胞診染色

透明度が高く、費用対効果に
優れた染色液で、細胞質やクロ
マチンの顕微鏡観察を効率化



自動包埋装置

試料への試薬の塗布作業を効率
化するとともに、試薬コストを
低減



カセットプリンター

検体やスライドガラスの印字を
自動化しワークフローを効率化



業界初製品

Superfrost / Superfrost Plus スライドガラス (1984)

- 専用プリンターによる
直接印字が可能なフロスト付き
スライドガラス
- 細胞組織をガラスに
接着させるコーティング技術



Richard-Allan Scientific 細胞診染色 (1997)

- ヘマトキシリンとエオシンの
採用によって染色性能の
最適化を実現した細胞診染色



1966年に三洋電機株式会社として事業開始以降、業界をリードする高い技術と品質にこだわったモノづくりで、医療現場やライフサイエンス研究をサポート

事業の強み

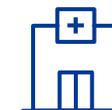
- 1 大手製薬企業や公的認証機関などに認められた、業界トップクラスの高性能かつ高品質な製品とサービス
- 2 多様な顧客ニーズに応え、高い性能とユーザビリティを実現する独自技術と精緻なモノづくり
- 3 約110の国と地域で販売・サービス体制を確立
- 4 国内外における高い市場シェアと、幅広く強固な顧客基盤

主要顧客

製薬企業／バイオテック



病院／診療所



研究機関／大学



調剤薬局



ライフサイエンス・ファーマシー・フードケータリングの3つのソリューションセグメントを通じて、
ライフサイエンス研究と医療の現場に新たな価値を創造

超低温フリーザー

業界トップクラス※1の省エネ性能で地球環境
負荷低減に貢献。
高いユーザビリティで研究を支援



CO₂インキュベーター

優れた制御技術と独自の汚染防止機能で
最適な培養環境を維持し、細胞の培養効率と
再現性を向上



薬用保冷库 /
薬用冷蔵ショーケース

正確な温度制御技術で医薬品の品質低下を
防止。優れた省エネ性能で温室効果ガス削減
にも寄与



業界初製品（日本）

薬用保冷库
(1966)



真空断熱材（VIP）を
搭載した超低温フリーザー
(1998)



ライブセル
代謝分析装置

細胞代謝物の連続測定によって、
がん免疫や幹細胞などの研究を
支援し、製剤化に向けた製造
プロセス構築に貢献



リモート
モニタリングシステム

機器の稼働状況を遠隔で
リアルタイムに一元管理。
保存物の品質確保と
モニタリング業務を効率化



自動錠剤包装機

調剤業務の自動化により、
調剤過誤の発生リスク低減と
薬剤師の業務負担を軽減



適温配膳車

入院患者さまへの適時適温給食を
支え、配膳業務の負担軽減と
効率化を実現



※1 ENERGY STAR 認証取得

※2 自社調べ

2023年、PHC株式会社と株式会社LSIメディエンスの各診断薬事業を統合し誕生した新生PHC IVD。
高精度・高信頼性・高付加価値の医療機器と体外診断薬を安定的に提供

事業の強み

- 1 診断薬・診断機器の開発における
卓越した開発力・モノづくり技術
- 2 完全自動化設備の導入により高品質、
高精度なモノづくりと生産の最適化を実現
(愛媛県・松山地区の血糖値センサ工場)
- 3 VOC※1に基づいた
協業パートナーに寄り添う提案
- 4 コンカレントエンジニアリング・
フロントローディング※2による効率的な製品開発

主要顧客

病院／診療所



医療機器メーカー



製薬企業



※1 Voice of Customerの略。顧客からの意見・要望など

※2 コンカレントエンジニアリング：開発工程において複数の工程を同時に進め、開発期間を短縮する手法 フロントローディング：設計初期段階から後工程で行われていた作業を前倒しで行い設計完成度を上げる手法

業界初のラテックス技術開発から培った高精度な診断試薬やコンパクトなPOCT（簡易迅速検査器）を通じて、医療現場でのリアルタイム検査に貢献

診断薬

血液凝固・線溶分野をはじめ、血液中の成分を測定する体外診断用医薬品（診断薬）を幅広く展開。インフルエンザウイルス、新型コロナウイルスなどを検出する試薬により迅速で簡便な検査にも貢献



診断機器

心疾患や敗血症、性腺関連マーカーなどの分析に使用される移動式免疫発光測定装置は、高感度で迅速な測定を実現。全自動血液凝固検査システムなどを通じて、救急病棟から大規模な中央検査室まで多様なニーズにも対応



業界初製品

電気化学式自動吸引型血糖値測定システム
(1991)



ラテックス凝集法光学的免疫測定装置 (LPIA-1)
(1982)



協業パートナーと共に、糖尿病や喘息などの疾患の早期発見と効果的な治療を支援

血糖自己測定システム

納入先 アークレイ株式会社



POC生化学分析装置
(HbA1c、脂質およびCRPを測定)

納入先 ロシュ・ダイアグノスティックス社



病院／診療所用
血糖値測定システム

納入先 株式会社三和化学研究所



採血用穿刺器具・専用採血針

納入先 株式会社三和化学研究所



電動式医薬品注入器

納入先 JCRファーマ株式会社



電動式医薬品注入器

納入先 ファイザー社



電動式医薬品注入器

納入先 帝人ファーマ株式会社



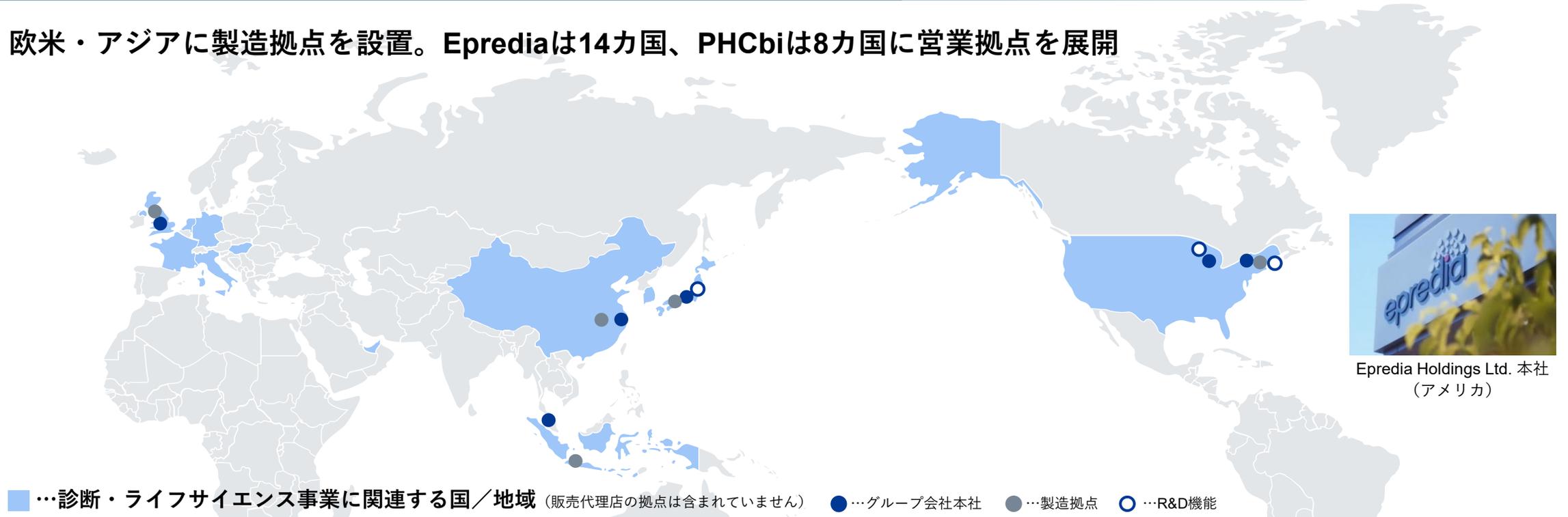
呼気一酸化窒素測定装置※

納入先 NIOX社



※ 「呼気一酸化窒素測定装置」は米国FDA 承認済み

欧米・アジアに製造拠点を設置。Eprediaは14カ国、PHCbiは8カ国に営業拠点を展開



Epredia Holdings Ltd. 本社
(アメリカ)

■ …診断・ライフサイエンス事業に関連する国/地域 (販売代理店の拠点は含まれていません) ● …グループ会社本社 ● …製造拠点 ○ …R&D機能

製造拠点

- Epredia Holdings Ltd. (アメリカ、イギリス、中国)
- Fa-Tech Diagnostics Italia S.R.L. (イタリア)
- Laurypath (フランス)

営業拠点 14カ国

製造拠点

- PHC株式会社 (日本)
- PT PHC Indonesia (インドネシア)

営業拠点 8カ国

- PHC株式会社 (日本)
- PHC Corporation of North America (アメリカ)
- PHC Europe B.V. (オランダ・イギリス・フランス・UAE※)
- PHC上海有限会社 (中国)
- SciMed (Asia) Pte Ltd (シンガポール)
- PT PHC Sales Indonesia (インドネシア)

製造・営業拠点

- PHC株式会社 (日本)
- PT PHC Indonesia (インドネシア)

※ マーケティング拠点

(2023年3月時点)



(2023年3月時点)



営業拠点

- ・東京
- ・大阪
- ・福岡



営業拠点

- ・北海道
- ・宮城
- ・東京（本社）
- ・神奈川
- ・愛知
- ・大阪
- ・広島
- ・福岡

製造拠点

- ・群馬（大泉工場）
- ・愛媛（松山工場）



営業拠点

- ・北海道
- ・宮城
- ・東京（本社）
- ・愛知
- ・大阪
- ・広島
- ・福岡

製造拠点

- ・千葉（成田工場）
- ・徳島（脇町工場）
- ・愛媛（松山工場）

5 PHCグループのサステナビリティ

Environment (環境)



Social (社会)



Governance (ガバナンス)



Environment (環境)

PHCグループは、企業が事業活動を展開する上で環境への配慮を行うことは企業の責務であるという認識のもと、持続可能な環境を実現するために、国内外の製造拠点でISO14001認証を取得し、エネルギーの効率的な利用や環境に配慮した製品開発を含む、様々な施策を通じて環境負荷低減に努める等、地球環境保全活動に取り組んでいます。特に「気候変動への取り組み」「省資源化による環境への配慮」「サーキュラーエコノミー社会の推進」を、取り組むべき重要なマテリアリティと捉え、重点的に取り組みを行ってまいります。



Social (社会)

我々はヘルスケアイノベーションの創出を通じて新しい価値を創造するとともに、ヘルスケア業界において人々の健康に直接携わることの重大性を認識し、製品の安全性及び品質への責任を果たすことが最重要と考えています。高品質・最先端の製品をご使用いただき、新規治療法の開発等を通じて、医療の質の向上に貢献します。また、新興国・途上国での拡販を通じ、より多くの方々に医療や医薬品を届けることができるようになり、医療アクセスの改善にも繋がると考えています。



Governance（ガバナンス）

経営の透明性、公平性、迅速性を確保し、持続的な企業成長と恒常的な企業価値向上を果たすためにもコーポレート・ガバナンスが重要であると考えています。経営における執行と監督の明確化・強化もその一つであり、企業経営の迅速な執行のため、執行役員制の導入とともに、取締役会による監督と監査役による適法性監査の二面での複層的な監督機能を有する監査役会設置会社を選択しております。また、経営の健全性・効率性及び透明性を確保し、持続的に企業価値を向上させていく観点からも、適切なコーポレート・ガバナンスの構築やその実施に取り組んでいます。



イニシアティブへの参画/社外からの評価

「MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数」^(※1)
 構成銘柄に選定
 最新のMSCI ESGレーティングにおいて
 「AA」評価を獲得

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
 ESGセレクト・リーダーズ指数



EcoVadis社のサステナビリティ評価^(※2)において
 「コミットメント・バッジ」を獲得



CDP^(※3)を通じた環境情報を開示



(※1) 米国のMSCI (モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル) 社が提供するESG投資インデックス。親指数 (MSCI日本株IMI指数) 構成銘柄のうち、ESG評価に優れた企業により構成された指数で、2024年1月時点で517社が選定されています。
www.msci.com/our-solutions/indexes/nihonkabu-esg-select-leaders-index

(※2) 数千にのぼる外部ソース (NGO、労働組合、国際機関、地方自治体、監査機関など) を基に「環境」「労働慣行と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4つの分野で包括的に行われるもの。EcoVadis社は、これまでに世界180か国、13万社を超える企業・団体の評価を行ってきた、独立性と信頼性の高い共同プラットフォームです。ecovadis.com/ja/

(※3) 英国の慈善団体が管理する非政府組織 (NGO)。2000年の発足以来、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営。japan.cdp.net/

